

第5学年 道徳学習指導案

摂津市立鳥飼北小学校
指導者

研究主題

一人ひとりの力を伸ばし、自尊感情を高め、互いに学び合える授業をめざす。

- ①正しく読み取る力を育成する。
- ②自尊感情を高め、道徳性を高める。

研究仮説Ⅰ

国語科の授業を中心に、「読む」「書く」についての取り組みを行うことで、正しく読みとる力がつくだろう。

研究仮説Ⅱ

道徳の授業において、系統性を持ち、すべての内容項目において取り組みを行うことで、道徳性が育まれ、自尊感情が高くなるだろう。

(1) 日時 平成29年11月21日(火) 5時間目(13:45～14:30)

(2) 学年・組 5年1組(28名)

(3) 場所 5年1組 教室

(4) 主題名 相手を素直に受け入れる

(5) 内容項目 B一(11):相互理解・寛容
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

(6) 資料名 「ブランコ乗りとピエロ」
(出典:私たちの道徳 小学校五・六年 文部科学省)

(7) 主題設定の理由

①ねらいとする価値について

ピエロがブランコ乗りのサムを認めることで互いに高めあう関係になっていく過程を通して、謙虚な心を持ち、広い心で相手を受け入れ、良い関係を築こうとする道徳的心情を育てる。

②児童の実態

本学級の児童は、指示されたことは忠実にこなすことができる。しかし、自分たちで考えて行動する場面になると、とたんに消極的になる。どうしたら良いのか判断できない児童もいるが、大半は「何をすれば良いかは何となくわかるが、本当に正しいのかわからない」ので、間違ったり失敗したりすることを恐れ、行動を起こすことができない児童である。また、率先して行動を起こすことによって、目立ってしまうことを極端に嫌う児童も少なからず存在する。それは、「足を引っ張られるのではないか」「変な目で見られるのではないか」「失敗すればバカにされるのではないか」という不安な気持ちを持っているからであると考えられる。

この時期の児童は、より抽象的な思考が可能となり、感情でなく、知識で支えられた理性で物事を判断できるようになってくる。また、自分自身の考え方についての認識が深まり、他の人との違いを意識するようになる。自分を客観的にとらえることができるからこそ、他人と比較したり、相手に対して劣等感を抱いたり、うらやんだりすることがある。こうした自分の「弱さ」を認め、向き合うことで、互いに高めあうことができ、深い関係を築くことができるような児童にしたい。

③資料について

本資料において、サーカスのリーダーであるピエロは、自己中心的なふるまいをするブランコ乗りのサムに腹を立てていた。他国から招かれたサムを、素直に認めることができなかったのである。しかし、演技後のサムの様子を見たピエロは、サムの努力やサーカスに真摯に取り組む姿勢に気づき、広い心と謙虚さを取り戻して、サムと互いの心を通わせる物語である。

ピエロがサムを素直に受け入れることができなかった原因として「嫉妬」と「偏見」があると考えられる。他国から来た、サーカスの花形であるブランコ乗りに対して、ピエロはどう思っていたのかということをつえさせ、ピエロはサムに対して公平な見方ができていないことを押さえる。その後、サムの真摯な姿勢を見たピエロの心の動きを考えることで、人に広い心で接して、自分と異なる立場や考えを受け入れることの大切さについて深く考えさせたい。

互いに高めあい、広がりや深まりのある関係を築くには、広い心で相手の言動を受け入れ、他の事について厳しく責めないことが必要であるが、高学年の児童にとって、これらは非常に、難しい事である。寛容であるためには、相手の事を理解することと受け入れることができなければならない。自分の立場が危うい状態であれば、不安や劣等感、嫉妬などの自分本位の気持ちのために、相手を正しく理解できない場合がある。自分自身を守ろうとする力が働いてしまうからである。

相互理解や寛容な心が大切であることはわかっているが、なかなか素直になれない理由として、これらのことがあげられることに気付くことで、自分自身の弱さを認め、言動を見つめなおすことができ、よりよい関係を築ききっかけとなるように指導していきたい。

(8) 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	「サーカス」について知っていることを挙げる。	<p>サーカスについて知っていることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・象が芸をする。 ・空中ブランコがすごい ・ピエロがおかしなことをする。 ・ライオンの輪くぐり ・ジャグリング 	サーカスについて知らない児童がいても、サーカスはどのようなものかをイメージできるようにする。また、ピエロの役割や、空中ブランコについても触れる。
展開	資料「ブランコ乗りとピエロ」を読む。		
	ピエロとサムの関係を読み取り、時間を超えて演技をしているサムに対してのピエロの気持ちを考える。	<p>○ピエロは、大王の前で空中ブランコを続けているサムを見上げてどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腹を立てていた。 ・サムだけ目立ってずるい！ ・ずっとスター気取りか！ ・また、やりやがったな！ ・あれだけ注意したのに！ 	ピエロとサムの関係と立場を押さえ、ピエロがサムに対して怒っていることを押さえる。
	ピエロのサムに対する気持ちは、本当にサーカス団のためを思っているものなのか、個人的嫉妬心によるものなのかに分ける。	<p>○ピエロは、なぜ腹を立てたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サム態度に対して。 ・自分だけ目立とうとしているから。 ・予定がくずれたから。 ・自分の出番がなくなったから。 ・自分の見せ場がなくなったから。 	意見を「サーカス団のために」「嫉妬心」の2つに分け、純粋にサーカス団のためだけに腹を立てているのではなく、ピエロ自身の嫉妬心や不安な気持ちが、サムを受け入れることの邪魔をしていることに気付かせる。 (「嫉妬」という言葉は5年生には難しいので児童が発した言葉を使う)
ピエロのサムに対する気持ちが変容した理由を考える。	<p>◎「静かに話し始めた」ピエロは、サム的事をどう思うようになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サムが頑張っている姿を見て、憎む気持ちがなくなった。(○) ・お互い、力を出し合って、お客さんに喜んでもらおう。(○) ・サムが頑張っている姿を見たおかげで、自分も力いっぱい頑張ることができた。(○) ・ただ目立ちたいだけではないことがわかった。(○) ・サムのことを誤解していたけど、サーカス団のためにも自分勝手な行動は直してほしい。(◎) ・サムは、直してほしい所もあるけれど、サーカスに対する態度は、ぼくたちも見習わなければならない。(◎) ・サムに怒っても、聞いてくれないので、あきらめている。(△) 	サムがサーカスに対する真摯な姿勢に心を打たれ、寛容な心を取り戻したピエロの気持ちに気付かせる。	

評価の観点

○⇒ピエロがサムに対する嫉妬心や自分の立場を奪われるのではないかと不安感を持っていたがゆえにサムを素直に受け入れられなかったことに気づき、サムの実情に心を打たれたピエロはサムを受け入れることができ、互いに高めあう存在になったことに気付いている。

◎⇒サムの実情に心を打たれ、サムを受け入れることができたが、サムの本位の行動については直さなければならない、という点を付け加えることができている。

△⇒○の手立て
本文の「サムは、力いっぱい頑張っている。だから…」の部分に注目させ、サムがサーカスに対する真摯な姿勢がピエロにも伝わったことに気付かせる。

<p>ま と め</p>	<p>振り返りを書く。</p>	<p>授業中に考えたことやこれまでの経験、これからの生活に活かせそうなことについて書いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピエロは、サムのことをよく知らない時は、自分勝手な奴だと思っていたけど、サムが頑張っている姿を見て、サーカス団のためにお互い頑張ろうという気持ちになった。(○) ・今日の授業で、クラスのためを思って行動している人がいたら、応援してあげようと思った。(○) ・話し合いで、頑張ってる人を見て、「何勝手に頑張ろうとしてるねん！」と思っていたけど、それは「自分が仕切れないことにくやしさ」だったんだと思ったので、これからは自分でも仕切れるようになりたいし、仕切ってくれる人がいたら素直に話を聞きたい。(◎) ・今日の授業は楽しかった(△) 	<p>○⇒寛容な心を持つためには、相互理解が必要であることや、友達はお互いに高めあう存在であるということに気付いている。</p> <p>◎⇒自分自身の経験や、これからの行動に今回の授業内容を重ね、自分自身の嫉妬心などの「弱さ」を排除することが大事であることに気付いている。</p> <p>△⇒「楽しかった」「よく考えた」など、授業中に考えたことを具体的に表すことができていない。</p>
----------------------	-----------------	--	---

ブランコ乗りとピエロ

サーカス

○象の芸 ○空中ブランコ

○ピエロ ○ライオン ○ジャグリング

大王の前で空中ブランコをし続けているサムを見た、ピエロの気持ち

○腹を立てていた。 ○サムだけ目立ってずるい！

○ずっとスター気取りか！ ○またやりやがったな！

○あれだけ注意したのに！

ピエロが、サムに腹を立てた理由

○サムの態度 ○自分だけ目立とうとしているから

○予定がくずれたから ○自分の出番がなくなったから

○自分の見せ場がなくなったから

「静かに話し始めた」ピエロの、サムに対する
思い

○サムの頑張っている姿を見て、にくむ気持ちが悪くなった。

○お互い、力を出し合って、お客さんに喜んでもらおう。

○サムががんばっている姿を見たおかげで、自分も力いっぱいがんばることができた。

○ただ目立ちたいだけではないとわかった。

○サムのごとは誤解していたけど、サーカス団のためにも、自分勝手な行動はなおしてほしい。

○サムには、なおしてほしい所もあるけれど、サーカスに対する態度は、ぼくたちも見習わなければならない。

嫉妬